

ACE 人権通信 6月

人権教育・啓発通信：「エース」
 発行：阿南中学校家庭・人権教育部
 (No.3) 2022年6月29日(水)
 文責：人権教育主事 中岡 和也

6月は、教室の窓から外の景色を眺めると、鮮やかな木々の緑色が目に飛び込んできます。外に出ると気持ちのよい風が吹き抜け、本当にさわやかな季節になってきました。阿南中学校でも、前期の中間テストや避難訓練、参観授業などの行事がありました。また、今年度から南部Bブロックとして総合体育大会が行われました。テストや避難訓練、授業参観に真剣に取り組む姿がとても素敵でした。また、総合体育大会でも最後まであきらめず、仲間と助け合いながらベストを尽くすことができていました。



◇富岡人権ふれあい子ども会開講式

6月6日(月)に富岡人権ふれあい子ども会開講式を行いました。3人の1年生が新たに加わり、今年1年活動していくこととなります。3年生が司会進行を担当し開講式を進めていきました。全員が今年度の目標を発表したあと、代表生徒が1年間活動していく意気込みを発表しました。

開講式に続いて、全員で「阿南市人権ふれあい子ども会」と「小松島市人権のまちづくり子ども会」の参加生徒が協力して制作した『子ども会かるた』を行いました。阿南市以外でも人権問題を解決していくために活動している仲間がいることを知るとともに、かるたから感じられたことを発表し合いました。



胸はって
 ふるさとを
 語る子に

◇各学年の人権学習 特集

「第一学年・第二学年 性的マイノリティ」

「性的マイノリティ」は、「セクシュアルマイノリティ」とも言われ、性的少数者という意味です。性的マイノリティの代表的な性の頭文字を合わせて、「LGBT」という言葉がよく使われます。「L」はレズビアン(女性で女性が好きな人)、「G」はゲイ(男性で男性が好きな人)、「B」はバイセクシュアル(男性と女性両方好きになる人)、「T」はトランスジェンダー(体と心の性に違和感がある人)です。しかし、この4文字だけではすべてを表すことができないため、国連人権委員会等では、「SOGI(ソジ)」(性的指向や性自認の略)という用語がよく使われています。これは、すべての人にそれぞれ性的指向(好きになる性)と性自認(心の性)があり、それは多様であるという考え方に基づいています。

現在の日本では、まだまだ学校生活や社会生活で性的マイノリティの人が困難に直面する場面が見られます。どのような性であっても、差別的な扱いを受けることなく、平等にかつありのままに生きられる社会でなければなりません。



今回「あなたがあなたらしく生きるために」を学習して、改めてその人のことを理解し、認め合うことの大切さを知りました。小学校二年生ぐらいの時にある子が誰かに向かって「オカマ」などと軽い気持ちで言っていました。自分自身は絶対に相手を傷つける言葉を使わないようにしていきたいです。

(1年 杉本 舜真)



私は、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会を作るためには、一人一人の個性を認め合うことが大切だと思います。また、いろいろな性について理解したり、自分が普通だと思ったりせず生活していきたいです。誰もが自分らしく生きていけるように自分にできることをやっていきたいです。

(2年 新居 杏月)



「第三学年 同和問題（教科書無償化運動）」

戦後の同和問題における教育上の課題の一つに、被差別部落の子どもたちの長期欠席や不就学の問題がありました。長期欠席や不就学の原因として、家庭において、子どもも働き手として家計を支えていました。こうした状況に対応するために、高知県では、福祉教員を学校に配置する制度が始まりました。『今日も机にあの子がいない』という言葉から学力保障を目的に同和問題解決に向けた動きが広まりました。高知県で起こった母親たちによる教科書無償化運動は、「我が子に学校で勉強をさせてやりたい」という願いから始まっています。

みなさんは、「夏休みが待ち遠しい」を読んでどのような思いになりましたか。本来なら楽しみはずの夏休みもこの作文に登場する「私」は違った意味で夏休みを待っているのだと思います。この「私」がなぜ学校に通えなかったのか。日々どのような思いで過ごしていたのか。すべて部落差別が「私」の教育を受ける権利を奪っているのです。みなさんが差別やいじめを受けて学校に通えなくなったらどのような気持ちになりますか。相手の痛みを想像できる人であってください。

「夏休みが待ち遠しい」

私は、このごろ学校を休む。休んだあくる日に学校に行くと、みんなが「あんた学校をささい休むねえ。どうしたか」ととう。私は、「かぜをひいて休んだ」というと、「あたしらあかぜをひいたばあ休まんよ」と言われる。

先生、私が学校をささい休むのは、かぜをひいて休むときもありますが、もうひとつのわけは、うちがびんぼうで、ねえさんが中学校を休んでうちの手伝いをしています。私はそのねえさんを見てると、きのどくで朝学校へ行こうと思っても、行きにくくなって休むのです。先生ごめんなさい。

それから先生にもうひとつおねがいがあります。それは、先生が給食代をもって来た人の表を教室の前にはいっていますが、あれをはずしてくれませんか。私はあの表が心配で学校へ来にくい日があります。

私のうちは、おとうさん、おかあさんが毎日昼ごはんを食べんずく働いてくれます。私は学校の給食代をようはらいません。私だけではなしに、三年の弟の給食代もたまっています。私と弟と二人で、学校給食を食べるのは無理だと思います。それで、来月から自分がやめて、弟だけ食べさせてやりたいと思いますが、先生いけませんか。私はこれがいまいちばん困っていることです。

はやく夏休みになったらよいと、この間から思っています。そして、うちの手伝いもできます。夏休みには給食代をはらうにおよびません。

高知県の児童の作文（1950年後半）

～ 学 習 内 容 ～

今から60数年前まで、教科書は毎年、新学期を迎える前に各家庭でそろえることになっていた。新しい教科書を全部揃えると小学校でも700円。中学校で1200円ほどかかった。女の人が1日働いても、300円ほどの収入しかなかったから当時は、教科書を揃えるだけでも大変であった。高知市にあるA地域の人々は、さらに教科書を揃えるのが大変であった。それは、厳しい部落差別により、安定した仕事や好きな仕事にもつくことができなくて、苦しい生活を強いられていたからである。そこで子どもたちは、少しでも家の手伝いをして、生活を助けるために学校を休んでまでして働いた。その結果、十分な教育を受けられなかったために、安定した仕事につくことができなかつた。だから、A地域の人々は、せめてわが子には、「新しい教科書を持たせてやりたい」「学校で勉強させてやりたい」という願いから教科書を無償にする運動が始まったのである。

このタイトルの「教科書無償化運動」のためにたたかってきてくれたその時代の親は本当にすごい人たちだと思った。この人たちがいなければ、今の自分たちは無償でもらえなかったかもしれないと考えると感謝の気持ちでいっぱいになります。だからこそ、今の自分がこれからできることは差別やいじめをしないことだと思います。みんな平等で同じ人間であることをもう一度考えて生活していきたい。

（ 3年 土肥 慶悟 ）



毎月第1日曜日は「家庭人権学習の日」です

阿南市では毎月第1日曜日を「家庭人権学習の日」としています。家族で、人権について話しをしてみましよう。7月は3日（日）が「家庭人権学習の日」になります。

6月のACE人権通信を読んでどんなことを感じましたか？自分自身を見つめ直したり、学級や学年でしんどい思いをしている子がいないか考えたりして、今後どのような行動がとれるかを家族の人と話しをしてみましよう。